

## 環境技術実証モデル事業展示・ワークショップ／シンポジウムについて

### 1. 開催の背景・目的

環境省は、平成 15 年度より「環境技術実証モデル事業」を実施しており、5 年にわたるモデル期間を経て、平成 20 年度より本格事業化を予定している。モデル事業開始から 4 年度目にあたる本年度は、本格事業化に向け、モデル期間中の成果を国内に向けて発信し、本事業の認知度向上による事業効果を高め、また、関係者間の情報交換や関係者による積極的な提案の場を設けることにより、本事業の改善や対象技術数の向上等を目指すこととする。

### 2. 開催の方法について

これまでのモデル事業の成果を広く一般に向けて発信し、また、本事業について環境技術関係者間での認知度を高めると同時に具体的な情報交換を行う場を提供するため、環境に関心のある一般国民や環境技術関係者が集うことが期待される「エコ・プロダクツ 2006」(東京ビッグサイト：12/14-16)において、モデル事業の成果等についての展示を行う。

また、特に本事業に関心の高い環境技術関係者を対象とし、具体的な事業参加の意欲を引き出すと共に、事業改善のための有効な提案を得ることを目的として、参加型のワークショップ／シンポジウムを開催する。

### 3. 展示会

エコ・プロダクツ展の展示会場において一定の区画を用意し、以下の展示を行う。

#### 展示物 (案)

- モデル事業全体の説明パネル
- 各技術分野毎の成果報告パネル
- 持ち込み可能な範囲内\*での実証済み技術の実物展示 (希望・予算次第)
- 実物持ち込みが困難なもの等の模型・動画画面展示 (希望・予算次第)
- 個別の技術の紹介パンフレット等

(\* 電気が必要なものは容量次第で可能。排水設備が必要なものは不可)

#### 配布物 (案)

- モデル事業全体のパンフレット
- 各技術分野毎の概要報告書

#### 4. ワークショップ／シンポジウム

エコ・プロダクツ展の一環として、セミナールーム又は展示会場の一角において、以下の内容で実施する。

- 基調講演（課題未定）
- 報告発表（課題全体についての紹介、各技術分野の実証結果の紹介、技術実証を通じたメリット、手数料体制の検討状況等から検討。）
- 意見交換
  - ・ それぞれ関心の高い技術部門に分かれ、新たに実証すべき技術分野の提案、情報交換等を実施。

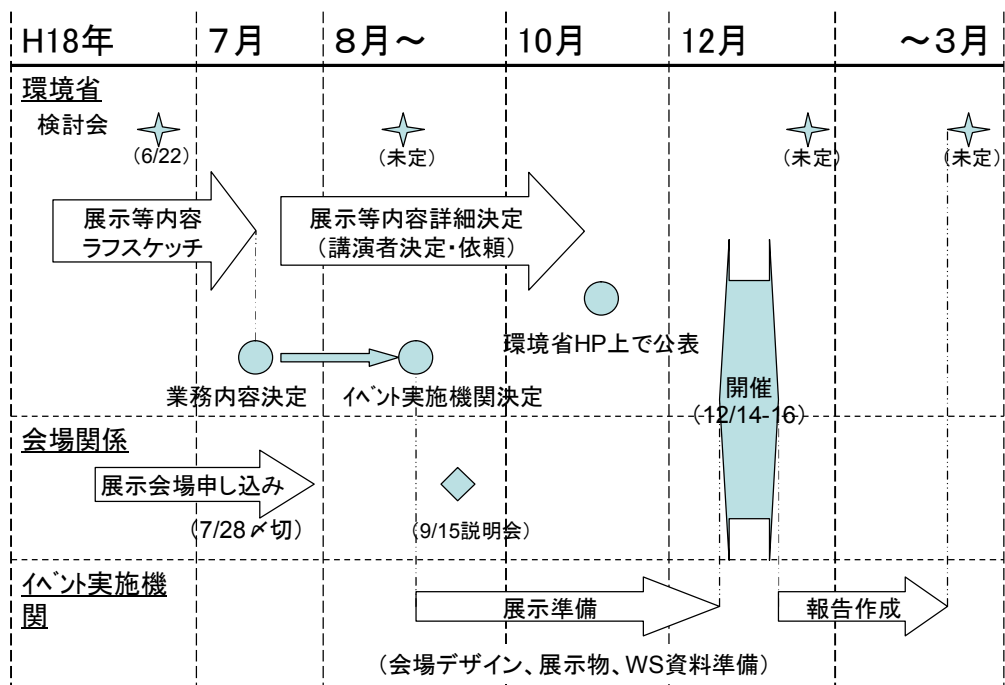
又は

- ・ 技術分野毎の専門家をパネラーとしたパネルディスカッションを実施し、聴衆からの質問、意見をうけつつ、これからの事業のあり方や新たに実証すべき技術分野の提案を実施。

#### 5. 今後の予定

以下のスケジュールにそって、展示物、ワークショップ／シンポジウムの内容等の概要を固め、イベント実施機関を決定する。併せて、エコプロダクツ展の出典申し込み、展示・ワークショップ／シンポジウムの詳細決定（展示物、講演者の決定等）等、具体的な準備を進める。

#### 今後のスケジュール



● エコ・プロダクツ展 2006（概要）

エコプロダクツ2006
12/14・15・16
東京ビッグサイト
[東展示場]  
10:00~17:00
(社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
HOME 出展申込 出展のお問い合わせ



### 出展申し込みのご案内

- ▶ 出展申込
- ▶ 出展要項ダウンロード(PDF) ※1.4MB
- ▶ 出展費用
- ▶ 出展のお問い合わせ



### エコプロダクツ展のご紹介

[トップページ](#) > [エコプロダクツ展とは？](#) / [開催趣旨](#) / [開催概要](#)



## エコプロダクツ展のご紹介

- **エコプロダクツ展とは？**
  - ▶ [開催趣旨／開催概要](#)
  - ▶ [エコプロダクツ展の特長](#)
- [出展対象分野](#)
- [環境改善の11のポイント](#)
- [過去の開催結果](#)
- [ロゴ・キャラクターダウンロード](#)
- [会場へのアクセス](#)

### 開催趣旨

社会の地球環境問題への意識は高まり、循環型社会へのシフトが着実に進んでいます。企業は一層の環境経営やCSRの確立に推進することが求められ、市場に多くの「**エコプロダクツ**」が登場し環境性能を競っています。まさに、環境ブランドを確立する企業が市場を制する時代となりました。

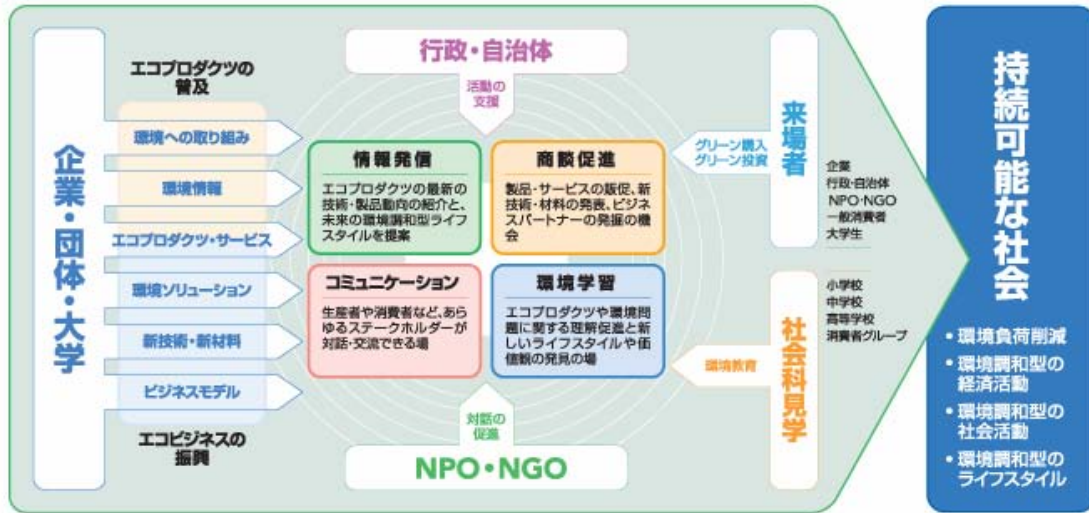
本展はエコプロダクツの普及とビジネスチャンスを拓くことを目的に、1999年にスタートし、2006年で8回目の開催を迎えます。出展者数は2005年に500社・団体を超え、14万人以上が来場する、わが国最大級の環境総合展です。「エコプロダクツ2006」でも、環境ビジネスの拡大や環境コミュニケーションの実践、環境NPOや市民グループ、大学などの参画、子供や若年層への環境教育などさまざまな企画を展開してまいります。

環境ブランディング、環境マーケティング戦略、国際化をさらに進める上で、皆様の環境配慮製品・サービスの普及や販促、環境技術や環境ソリューション情報の発信・交流の機会として、是非積極的な本展へのご出展をお願いいたします。

### 開催概要

- **名称** エコプロダクツ2006 [第8回]
- **会期** 2006年12月14日 [木]～16日 [土] 10:00～17:00
- **会場** 東京ビッグサイト 東展示場 1～3+4ホール
- **主催** (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- **会期** 2006年12月14日 [木]～16日 [土] 10:00～17:00
- **会場** 東京ビッグサイト 東展示場 1～3+4ホール
- **主催** (社)産業環境管理協会、日本経済新聞社
- **後援** 経済産業省、新エネルギー・産業技術総合開発機構、文部科学省、環境省、国土交通省、農林水産省、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、(社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、日本貿易振興機構 [申請予定]
- **協賛** (社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(財)日本環境協会 [申請予定]
- **協力** 日経BP環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、環境goo、ソトコ、リンカラン [申請予定]
- **入場料** 無料 [予定]
- **来場対象**
  - ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門
  - ・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門
  - ・各業界団体、地域産業・商工団体など
  - ・一般消費者(ファミリー層、主婦、学生、社会科見学の小・中・高生)
  - ・環境NPO、NGO団体、市民グループ、環境に関心のある方
- **出展規模** 550社・団体 / 1,100小間 [予定] (2005年出展実績: 502社・団体 / 970小間)
- **来場者見込** 150,000人 (前回実績: 140,461人)
- **同時開催** 日経住まいのリフォーム博2006 (第2回)

# エコプロダクツ2006 概略図



[↑ ページのトップへ](#)